



【岩見沢】市内の建設会社の社員たちが21日、高齢化が進む同市朝日町で除排雪のボランティアを行った。

除排雪ボランティアは「普段お世話になっている市民の力になりたい」と始めたもので、今年で4回目。今回も馬淵建設、こぶし建設(旧宮脇大木建設)、北央道路工業の3社から社員ら46人が参加した。

## 岩見沢・朝日町で建設会社員

午前9時前から手分けして朝日町内のごみステーションや物置小屋、町内会館の屋上などを除雪。タイヤショベルやダンプカーなどの車両も使われ、3時間ほどで作業は終了した。

同町内会によると、同地区の住人約230人の半数以上が65歳以上。1人暮らしの人も多く、冬季の除排雪は大きな課題になっている。佐藤徹志郎町内会長(78)は「今年は雪が少ないとはいえ、年々住人の高齢化が進んでおり、大変ありがたいことです」と感謝していた。

(堀田昭一)

# 除排雪手助け 住民感謝



タイヤショベルなどを使って手際よく行われた除排雪ボランティア